

# 沢小っ子



栗原市立沢辺小学校閉校記念誌

ありがとう  
～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2014.03





## あいさつ

沢辺小学校の閉校に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
沢辺小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長	亀井 芳光	2
閉校にあたって	栗原市立沢辺小学校 校長	後藤 壮治	3
沢辺小学校の閉校に寄せて	栗原市立沢辺小学校 P T A 会長	久我 一仁	4
希望に燃えて育ちゆく 栗原市立沢辺小学校閉校記念事業実行委員会実行委員長		鈴木 健	5

校歌・児童会の歌			6
----------	--	--	---

沢辺小学校の沿革			7～8
----------	--	--	-----

学校の概要			9～10
-------	--	--	------

歴代校長			11～12
------	--	--	-------

## 寄稿文

～歴代校長～	沢辺小、中学校3回勤務の思い出	第27代校長	菅原 正平	13
	藤兵衛山とともに	第33代校長	小野寺和夫	13
	「太鼓のリズム」をお土産に	第34代校長	松田 節郎	14
	新たな地域の拠点づくりのスタートを	第35代校長	菅原 重悦	14
	沢辺小学校閉校にあたって	第36代校長	千葉 孝雄	15
	恵まれた環境のもとで	第37代校長	阿部 徹	15
	沢辺小学校の思い出	第38代校長	中川 肇	16
	沢辺小学校の閉校にあたって	第39代校長	高玉 敬輝	16
	ありがとう沢辺小学校	第41代校長	千葉 文彦	17
	受け継ごう！沢小パワー	第42代校長	小野寺 亨	18
～現職員～				19～20
～沢辺小の思い出～				1年生 21～22
				2年生 23～24
				3年生 25～26
				4年生 27～28
				5年生 29～30
				6年生 31～32

歴代P T A 会長				33
------------	--	--	--	----

## 寄稿文

～元職員～	母校の教師となって	昭和28年度～昭和36年度在職	佐藤 吉郎	34
	思い出	昭和56年度～昭和59年度在職	菅原 幹男	34
	「眺めも清き栗原の～♪」を口ずさみながら			
		平成17年度～19年度在職	平塚 茂樹	34
	藤兵衛太鼓のはじまり	平成3年度～平成9年度在職	鈴木 雅文	35
	卒業生として、教員として…	平成17年度～平成20年度在職	高橋 伸	35
～地域の方々～	私の思い出	昭和27年度卒業	菅原 馨	35
	優勝の花輪	昭和29年度卒業	菅原かつよ	36
	沢辺小学校よ、ありがとう	昭和44年度卒業	加藤 宗伸	36
	心の風景	昭和48年度卒業	二階堂紀正	36
	分校2年・本校4年の小学校生活	昭和51年度卒業	佐々木桂太	37
	思い出	平成3年度卒業	山本 和美	37
	沢辺小学校閉校を想う	平成10年度卒業	佐藤 健	37

## 思い出のアルバム

～懐かしの写真集	38～39
----------	-------

## 編集後記

栗原市立沢辺小学校 教頭 久保田健一	40
--------------------	----

## 沢辺小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

夏は数多くのゲンジボタルが舞い、冬は数多くの雪花が舞う。勉学に対する故事である蛍雪をまさに具現するこの沢辺の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきました沢辺小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

沢辺小学校は、明治6年7月に創立され、開校以来141年にわたる長い歴史と伝統を築き、沢辺地区の中核として、地域の発展と文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされており、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、沢辺小学校は、大正8年に現在の場所に建築されてから、長きにわたり健全な子どもたちの育成やPTA活動を活発に行い、多くの児童を世に輩出されてきました。特に、「自ら学び 自ら考え 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」を教育目標とされ、眼前には藤兵衛山、そして目を下ろせば清流三迫川がやさしくも力強いせせらぎを奏でる素晴らしい自然環境、そして沢辺の町やくりはら田園鉄道を活かした総合的な学習の時間。児童一人ひとりに確かな学力が身に付くよう、きめ細かな学習活動を展開するなど、創意工夫をされてこられました。

さらに、沢辺地区の次代を担う子どもの成長を図る場として、保護者や地域の人々の学校に対する期待と関心は高く、沢辺地区をモチーフとし藤兵衛山を名前に冠した藤兵衛太鼓を創設されました。郷土文化に触れながら、地域の皆様からご指導をいただき交流することは、学社融合の模範となる一つの姿であると思っております。また、「みんなの登校日」の中では、参観日を1日の授業の中でいつでも自由に見られる形式にすることにより、多くの保護者が学校に足を運ぶことができます。多くの保護者が、家庭とはまた違う子どもの様子を見ることができるとともに、学校が開放されることで、学校と保護者、ひいては家庭や地域とのつながりも、より強くなる意義の深い行事であります。

近年では、平成20年6月14日に発生いたしました岩手・宮城内陸地震において、栗原市は最大震度6強を記録し、沢辺地区においても、大きな被害を受けられました。不安でいっぱいだった子どもたちも復興に向け、一丸となって取り組んでいた矢先、東日本大震災に見舞われ、再び大きな被害を受けました。校舎及び体育館の復旧工事は大規模となり、学習活動への影響が懸念されましたが、授業を継続できましたことは、教職員や関係者の御努力はもとより、地域皆様の御理解と御支援の賜であると実感しております。

このように歴史と伝統ある沢辺小学校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで沢辺小学校を巣立った皆様にとって、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ沢辺の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、沢辺小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。





## 沢辺小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光

平成26年4月、沢辺小学校は金成小学校・萩野小学校・萩野第二小学校・津久毛小学校と再編し、新生「金成小学校」として、金成中学校とあわせて栗原市で初めての小中一貫教育校として、現在の中学校敷地に建設された新校舎でスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました沢辺地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、沢辺小学校は、明治6年7月創立（沢辺町下町裏）され、同17年には、沢辺、大岡、大堤、姉齒、栗原の5ヵ村連合沢辺中等小学校がおかれました。同22年に五ヵ村併合を解消し、沢辺尋常小学校と改め、大堤、栗原の二分教場を設けました。同24年4月に姉齒分教場設置など、その後幾度かの改称が行われ大正8年4月現在の藤兵衛山のある沢辺西大寺に移転新築し、現在の校舎が昭和54年3月に落成しました。

沢辺小学校は、金成耕土の南西地に位置し、商店街の並ぶ沢辺地区、田畑が丘陵地に沿って広がる姉齒、小堤地区の三地区からなり、それぞれの地区には、「源氏螢の発生地」「姉齒の松」「小堤陣場」等の名所旧跡が多々存在し、学校の南にある「藤兵衛山校園」は、四季折々の変化に富んだ自然豊かで、野外活動や自然観察等の憩いの場になっておりました。

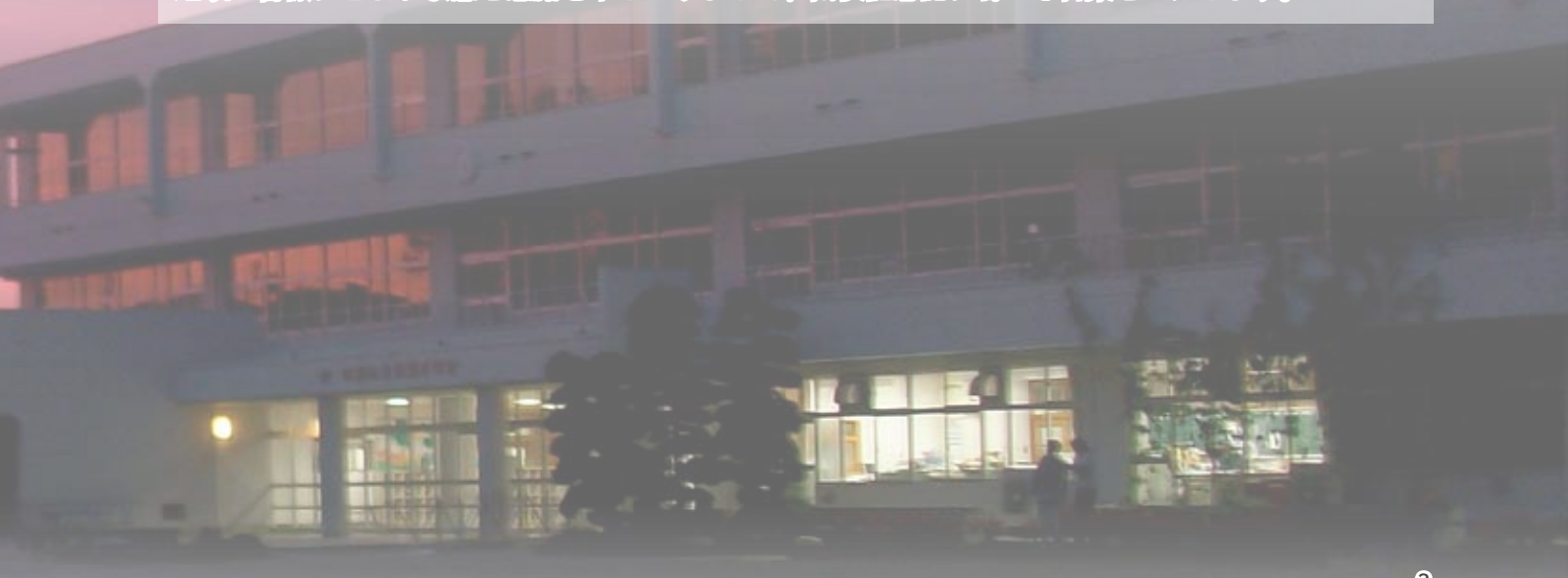
校章は、姉齒の松の松葉の中に源氏螢を模ったものです。昭和6年2月制定の校歌は、郷土の偉大な詩人白鳥省吾が作詞、作曲は、「七つの子」「赤い靴」「汽車ぼっぼ」で有名な本居長世であります。

平成9年度に創作した「藤兵衛太鼓」は、母校や地域の愛着を高め、協力・調和・連帯のすばらしさを体得するねらいで受け継がれました。「自ら学び 自ら考え 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」を教育目標に掲げ、「藤兵衛山児童会」や「運動会」等の学校行事には地域もPTAも積極的に協力し、地域文化の振興や交流活動の場として学校が存在しておりました。また、地域交流を深めるため「授業公開」を実施するなど、正に地域に開かれた教育活動を展開し、特色のある学校づくりを進めてまいりました。

しかしながら、歴史と伝統に輝く沢辺小学校の児童数も110名程度まで減少し、今後も減少傾向が続く現状を踏まえ、また、急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は、避けて通ることはできません。再編するに当たり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校舎と別れることは、地域の皆様にとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思えます。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた沢辺小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくださることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会ははじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる金成小学校・萩野小学校・萩野第二小学校・津久毛小学校の子どもたち、保護者、地区の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり沢辺小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





## 開校にあたって

栗原市立沢辺小学校

校長 後藤 壮治

明治6年の学制発布。この年に沢辺小学校はスタートしています。開校以来、呼称は何度か変わったものの、『栗原市立沢辺小学校』は141年の長い歴史に幕を下ろすことになりました。本校は、いつの時代でも沢辺地区住民の文化の象徴でありました。この間、幾多のすばらしい人材を輩出し、地域・文化の拠点として輝かしい歴史と伝統を築いてきました。

時代の流れ、社会情勢の変化とはいえ、この沢辺地区から小学校がなくなることは誠に愛惜の情耐えがたいところがございます。沢辺地区の皆様のご母校として、また、地域の学校として語り尽くせないほどの思い出があると思います。開校以来、当地区の教育を支えてこられた歴代の校長先生を中心とした諸先生方の教育に対する熱意と、堂々と学校づくりに励まれた地区の皆様のご協力ご理解にあらためて深甚なる敬意と感謝の意を表すものです。また、PTA活動に対しては、会員の皆様はもちろん、地区の皆様にもご援助やご協力をいただき、活動を盛り立てていただきましたこと等、頭の下がる思いがいたします。正に、「学校は地域に浮かぶ船」のごとし。保護者の皆様や地域の方々に支えられ、本校ではさらに教育効果を上げることにつながりました。ここには、脈々と続く、学校、家庭、地域が一体となった温かい人間関係を基盤とした教育がありました。特に、最後の1年となった今年は、運動会をはじめ各種行事を中心に、保護者の皆様や地区の皆様も巻き込んでの「思い出多い行事」が多く、参加者全員が心を1つにして盛り立ててくれました。

平成26年4月には、金成地区の5つの小学校が1校に再編し、新生「金成小学校」としてスタートします。新しい校舎は、現在の金成中学校の場所に建設され、中学生と同じ校舎です。愛称 金成小中学校です。小中一貫教育校〔子ども達の成長を考えた緩やかな学年のくくりを活かし、一部教科担任制の導入、9年間を見通した英語教育等〕としての期待がかかります。この新しい環境の下で、新しい先生方や友達とともに、健やかに・よりたくましく育ててほしいと願っています。新校舎での、小中一貫教育のさらなる進展・充実を願い、学校・家庭・地域がさらに連携し、志の高い子どもたちになること期待しています。

最後に、これまで本校にお寄せいただきましたPTA・地区の皆様のご支援・ご協力に、さらには、閉校にあたり、物心両面にわたりご支援を賜りました本校閉校記念事業実行委員会並びに、栗原市当局・教育委員会に重ねて感謝申し上げますとともに、沢辺地区の発展と地区の皆様、そして、教育に携わった数多くの皆様、卒業生の皆様のご多幸とご発展を心より祈念し挨拶いたします。



最後の運動会 みんなでバルーン飛ばし（平成25年度）

## 最後の1年



最後の学芸会～みんなて感動を届けよう！！（平成25年度）





## 沢辺小学校の閉校に寄せて

栗原市立沢辺小学校

P T A会長 久我 一仁

すべての教室から見える藤兵衛山、暑い時も寒い時も、やさしく時には厳しく見守ってくれた藤兵衛山、そのような恵まれた環境にある沢辺小学校が141年の歴史に幕を下ろします。

明治6年の開校より多くの素晴らしい卒業生を輩出してきました、この歴史と伝統のある沢辺小学校の閉校は残念と言う言葉以上の表現が見つかりません。地域に昔からあって変わらない景色の一部となっている小学校から聞こえてくる子どもたちの元気な声、力強い太鼓の音、子どもたちの心地よい歌声どれをとっても今後聞くことが出来ないと思うと感慨深い思いがいたします。このような一つの思い出が卒業生や地域の方々の記憶に永遠に刻まれていることと思います。

最後の1年間、P T A会長として校長先生や先生方、地域の方々と共に子どもたちの安心・安全を第一に考え子どもたちが主役・主語になるよう努めて活動してまいりました。多くのP T Aの会員の方々にご賛同頂き、様々な「わ」が出来、1年で少しずつ大きくなったように感じられました。

そして平成26年4月より金成小中一貫教育校が開校いたします。金成地区5小学校と1中学校が再編し新しい学校が出来ます。栗原市内初めての小中一貫教育校で我々保護者や子どもたちも戸惑うことがあると思いますが、沢辺小学校の子どもたちは先輩諸兄から脈々と受け継がれてきている「沢小っ子」魂をしっかり継承して必ずや頼もしく元気に成長してくれると思います。

子どもたちは4月から生活環境が大きく変わりますが焦ることなく、ゆっくりと自ら考え主体的に行動することを学び、他の人の痛みや喜びを共有できる心豊かな人間性を学んでほしいと思います。

最後に沢辺小学校の卒業生はもとより歴代校長先生、教職員の皆様、地域の方々沢辺小学校に携わったすべての方々に対し心からの御礼を申し上げますと共に、これからも温かく見守って頂きますようお願いいたします。141年間ありがとうございました。



1年生を迎える会（平成25年度）



夏休みサマースクール  
～お菓子な工作（平成25年度）



入学式（平成25年度）



最後の運動会～地域みんなで玉入れ（平成25年度）



夏休みサマースクール～算数クイズ（平成25年度）

最後の1年



希望に燃えて育ちゆく

栗原市立沢辺小学校

閉校記念事業実行委員会実行委員長 鈴木 健

沢辺小学校の閉校に当り、閉校記念事業実行委員会を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。沢辺小学校は、明治6年7月に創立以来、二度の移転や幾多の変遷を経て、平成26年3月にその幕を閉じることになりました。その間、実に141年という永きにわたり、子どもたちの教育のみならず、沢辺地区の発展に貢献し、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。

また、数多くの卒業生を輩出し、栗原市や宮城県はもちろんのこと、全国の各分野にわたってご活躍されておりますことは、誠に喜ばしいことであります。逆に、他の市町村等から沢辺地区に来られた方も多数おられます。父兄や地区の一人として、この沢辺小学校を支えていただきましたことに心強さを感じました。心から感謝申し上げます。このように、沢辺を離れた方も、沢辺にいる方も、皆さんが情熱と誇りを持って活躍できる原動力は、故郷や地元への想いと沢辺小学校で結ばれた絆であります。

閉校は、地域の方々や卒業生、そして児童にとっても寂しい事であります。しかし、沢辺小学校は、栗原市金成の歴史に残ります。今後は、中学校と小学校5校を併せた「金成小中学校」に舞台を移し、新たな歴史を刻む事になります。児童の皆さん、伝統ある沢辺小学校で学んだ事に「誇りと自信」を持って、学校生活を送って下さい。更に、勉強やスポーツで心身を鍛え、希望に燃えて大きく豊かに成長することを願っております。

校庭にそびえる「藤兵衛山」は、授業のときも遊んでいるときも、楽しいときも悲しいときも、今日まで沢辺小学校の子どもたちを毎日見守ってきました。これからもずっと私たちを見守り続けます。そして、沢辺小学校のシンボルだった「藤兵衛山」は、沢辺地区皆さんの宝物です。学校がなくなっても心の拠り所として、みんなで大切にしていきたいものです。

さて、閉校記念事業実行委員会を組織・運営するに当たっては、学校はもとより地区の内外を問わず、たくさんの方々のご支援とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

結びにあたり、学区民皆様のご健康と、児童の皆さんの大いなる成長をご祈念申し上げます。併せて、今日まで沢辺小学校をお守り下さいました“全ての皆さん”に感謝とお礼を申し上げまして、閉校に寄せる挨拶といたします。



夏休み作品展（平成25年度）



みんなで草取り（平成25年度）

最後の1年



サツマイモ掘り（平成25年度）



感謝の会（平成25年度）



# 栗原市立沢辺小学校 校歌

白鳥 省吾 作詞  
本居 長世 作曲

♩ = 136

なが一めも き一よき くりはらの  
こ一こは さわべの しょうがっ こう  
あ した ゆうべに よくまな び  
と一もに たの一しむ わがさと よ

一、眺めも清き 栗原の  
ここは 沢辺の小学校  
朝夕に よく学び  
共に楽しむ わが里よ

二、栗駒山を 源に  
流れうつくし 迫川  
蛍の光 名も高く  
歴史は古き 臥牛館

三、沢辺の里の 人として  
わが日の本の 民として  
教えを守り 励みつつ  
希望にもえて 育ちゆく

昭和六年二月 制定

# とうべえ山児童会の歌

菅原 幸/近藤 友子 作詞  
三宮由香利/千葉香菜子 作曲

あふれる みどりに つつまれ て  
い一つも げんきな さわべの こ  
みんなの うたごえ ひびかせ て  
きぼうに むかって はばたこ う  
とうべえ や ま じどうかい

一、あふれる緑に つつまれて  
いつも元気な 沢辺の子  
みんなの歌声 ひびかせて  
希望に向かって はばたこう  
とうべえ山 児童会

二、すてきな仲間に かこまれて  
仲良く遊ぶ 沢辺の子  
みんなえがおで 手をつなぎ  
未来に向かって 飛びたとう  
とうべえ山 児童会

平成八年 制定





# 沢辺小学校の沿革

年	沿革概要 (◎:姉齒分校 回:沢辺中学校) ◇:ほたる学園分校	歴代校長	歴代PTA会長	
明治6	《学制公布》 ☆澤邊小学校創立(7月)~澤邊町下町裏:46年間~	○梨崎下等小学校(梨崎・姉齒学区)創立(6月) ※佐藤三悦(医者・歌人)初代教師 校舎は自宅の長屋		
7				
8	※ 澤邊町大火、84戸全焼			
9				
10				
11				
12				
13				
14		○梨崎小学校と改称し、姉齒村に移築(8月)	初 境澤 弥助	
15		○姉齒初等小学校と改称(8月)		
16				
17	五カ村連合澤邊中等小学校を置く(4月)~姉齒、澤邊、大堤、栗原、大岡~		2 相國謙三郎	
18				
19				
20	《小学校令実施》※ 澤邊町大火、65戸全焼	○姉齒尋常小学校と改称(1月) 大岡尋常小学校姉齒分教場となる(4月)	3 大津 千尋	
21			4 金野 清	
22	澤邊尋常小学校と改称し、大堤・栗原の二分教場を置く(1月) 尋常小学校を廃し、小学校簡易科を置く(7月)	○姉齒簡易小学校となる(7月)	5 齋藤 勇七	
23				
24	再び尋常小学校を置く	澤邊尋常小学校姉齒分教場となる(4月)		
25	姉齒分教場を分離	○澤邊尋常小学校から独立し、姉齒尋常小学校と改称(6月)		
26				
27		○姉齒尋常小学校校舎改築(11月)		
28				
29	※ 明治三陸大地震・大津波 6月			
30				
31				
32			6 菅原 臣六	
33				
34			7 齋藤 勇七	
35	※ 澤藤兵衛の子孫:澤來太郎(本校卒)衆議院議員に6期当選し活躍(大正11年まで)		8 狩野橘次郎	
36				
37				
38				
39			9 大津 千尋	
40	《小学校令一部改正》…義務教育を6か年に延長…			
41	澤邊尋常高等小学校と改称~高等科併置~(4月)		10 工藤藤太郎	
42				
43				
44				
45				
大正2				
3				
4				
5				
6				
7				
8	☆澤邊尋常小学校校舎新築 ~西大寺:60年間~(4月) ※校舎現在地に移転		11 阿部倉之助	
9				
10				
11				
12		○澤邊尋常小学校姉齒分教場となる(8月)	12 鹿野 毅	
13				
14				
15				
昭和2			13 金田 國三	
3				
4				
5				
6	校歌制定(2月) 作詞 白鳥省吾 作曲 本居長世		14 菅原 哲	
7				
8	※ 昭和三陸大地震・大津波 3月			
9				
10				
11	西校舎2階6教室増築(4月)		15 千葉 源太	
12				
13				
14				
15				
16	国民学校令施行により澤邊国民学校と改称(4月)	○澤邊国民学校姉齒分教場と改称(4月)	16 佐々木信平	
17			17 佐藤 啓吾	
18				
19				
20				
21				
22	《学制の改革》…小学校6年、中学校3年の9ヵ年が義務教育となる… 国民学校は小学校となり、国民学校高等科、中等学校、青年学校は3年制の中学校となる 澤邊村立澤邊小学校と改称(4月)	○澤邊村立澤邊中学校創設(4月) ○澤邊小学校姉齒分教場と改称(4月) ※中学校は小学校の教室・青年学校の校舎を借りて授業を行う 父母教師会結成(5月)	18 久我 瞭一 19 泉田 忠雄	初 泉田 忠雄
23	「放送教育」研究指定公開(2月)			
24				2 千葉 庄治
25			20 千葉 長治	



澤邊尋常高等小学校(大正5年)



姉齒分校





年	沿革概要 (◎:姉齒分校 □:沢辺中学校) ◆:ほたる学園分校)	歴代校長	歴代PTA会長
昭和26		20 千葉 長治	3 吉田 孝知
27		21 佐々木 茂	
28			4 菅原 次男
29	「地域社会教育」研究指定公開 (11月)		
30	…澤邊、金成、萩野、津久毛の四ヵ村が合併し金成町となる… 金成町立沢辺小学校と改称 (1月) ○姉齒分教場校舎新築 (3月)		
31	併設の沢辺中学校が移転、その校舎を使用 □沢辺中学校新築移転 (館山へ) …沢辺小と一緒に9年間	22 高橋 功	
32			
33	○「へき地教育」研究指定公開・姉齒分教場 (6月)		5 菅原 長助
34	水道設備・校庭拡張工事完了 (8月) 旧公民館を小学校講堂に改築 (3月)		
35	「書道教育」研究指定公開 (9月)		
36			
37	※ 宮城県北部地震 4月	23 小野寺克己	
38	※ 「扇山」高橋民雄 (本校卒) 大相撲東前頭5枚目、5年連続で活躍		
39			
40	「社会科教育」研究指定公開 9月		
41	沢辺小学校に「ほたる学園分校」創立 (4月)	24 千葉 英夫	6 中村元之助
42			7 三宮幸敏
43	「算数科教育」研究指定公開 10月	25 姉齒 壽	
44	金成小学校に次いで町内、第2番目のプールが完成 □四中学校が部校制を採りながらも金成中学校に統合 ■沢辺中学校閉校…22年の歴史	26 上坂 敬信	8 阿部 宗司
45			
46	□金成中学校実質統合 (4月)		
47	特殊学校開設 4月 ほたる学園分校新築移転・館山 4月		
48			
49	沢辺小学校ほたる学園分校 県立へ移管 ◆ほたる学園分校閉校 (閉校式3月15日) …8年の歴史 ●姉齒分校閉校 (閉校式3月22日) …101年の歴史	27 菅原 正平	9 松好 常三
50			
51			
52			
53	※ 宮城県沖地震 6月	28 小岩康次郎	
54	☆新校舎落成、使用開始 (西大寺:34年間) 藤兵衛山等造成工事完了		
55			
56	プールを体育館北東側に新設する		
57	「心身障害児理解推進校」研究指定公開 (10月)	29 澤邊 利朗	
58	学校環境緑化努力賞受賞		
59	宮城県特殊教育研究会会長表彰	30 相澤 浩二	10 姉齒 直美
60			
61		31 佐藤 眸	11 小野寺 猛
62	地下道入口に防風堤を新設 第2グラウンド土止め堤延長する	32 佐藤欣一郎	
63	低学年教室前にバックネット設置する 校門前地下道出入口の脇に自転車置場を設置する		
64	金成町教育委員会指定学習指導「国語科」公開研究会		
平成3	※ 水稲新品種「ひとめぼれ」発表、宮城県古川農業試験場長 阿部眞三 (本校卒)	33 小野寺和夫	12 菅原 芳夫
3	ボランティア活動普及事業協力校指定 よい歯の学校表彰		
4	体育館の床、ライン、ステージ全面塗り替え 校舎裏門の通用道路全面舗装完了 ※ われらみやぎの東北学おこし事業「くりはら賛歌」発表、作詞:吉田博司 (本校卒)、作曲:みなみらんぼう		
5	体育館ステージ、一文字、袖幕、引割幕、第二袖幕等新装 教育研究グループ「藤兵衛山」県助成を受ける 県社協より「福祉の発展に寄与」により、感謝状受賞	34 松田 節郎	
6	校庭全面整備する。教科担任制 ノーチャイム制の実施 T、T方式の導入 体験学旅行 (会津若松方面2泊3日)の実施 二階体育館通路の屋根工事完成 よい歯の学校表彰 金成町教委指定「学習指導」公開研究会 (H5・6)		
7	1、2年教室天井工事完了 校舎前広場の通路舗装 よい歯の学校表彰	35 菅原 重悦	13 佐々木 康 14 後藤 和廣
8	国道4号線歩道設置に伴う校庭、校門、藤兵衛山大規模整備 校庭の南西に大型砂場新設 国際交流学習 (アメリカ、中国) 開催 藤兵衛山遊具 全面塗装 よい歯の学校表彰受賞 コンピュータ11台導入、パソコン室設置 児童会を「とうべえ山児童会」と改称 児童会の歌を制定作詞 創作太鼓制作準備開始 (講師 関義徳先生創作依頼) 「姉齒の松」陸前高田市より寄贈 陸前高田市立気仙小学校と姉妹校締結 創作太鼓「藤兵衛太鼓」完成、学芸会で発表 校旗樹立、児童会旗、藤兵衛太鼓横断幕等を寄贈		
10	東洋大学教授 阿部兼也先生 (本校卒) 特別授業開催 (5、6年生受講) 環境整備事業 国道4号線沿にソメイヨシノ10本植樹 「藤兵衛太鼓」保存会を結成 6年修学旅行自主研修採用 交通安全人文字作戦実施	36 千葉 孝雄	15 高橋 哲夫 16 加藤 義弘
11	藤兵衛山にハナミズキを植樹 校舎廊下壁面、階段手摺りのペンキを塗り替え 校舎、体育館トイレの壁面 タイルを補修 トップライト雨もり (1、2年教室) 修繕工事完了 宝くじ助成 (250万円) で、大締太鼓 1基、和太鼓4基、締太鼓4基購入し、藤兵衛太鼓の全容が整う 文部省指定公開研究会を開催「豊かな心を 育む教育推進実践研究協力校 (道徳、特別活動) (H10・11) 県警察本部長より交通安全優良学校として表彰		
12	第8回上廣道徳教育賞最優秀賞受賞 藤兵衛山等にナナカマド他を植樹 東北管区警察局長より交通安全優良学校 表彰 藤兵衛山の旧遊具を撤去し、遊具 (ブランコ、シーソー) を新設 体育館暖房改修工し赤外線方式となる	37 阿部 徹	
13	体育館ギャラリーへの非常用通路設置 藤兵衛山に炭焼き窯が設置され、炭焼き体験実施		
14	教育用コンピュータの更新 校舎大規模改修開始。 (~12月終了) 体育館改修工事 開始。 (~9月終了) 給食開始 (南部給食センターから配食)	38 中川 肇	
15	県環境生活部指定「愛鳥モデル推進校」 (H15・16) 文科省指定「科学技術・理科教育推進 モデル事業 (理科大好きスクール) (H15・16) 災害 (震災) 復旧工事。 (~10月終了)		17 鈴木 明彦
16	玄関前にサークルベンチを設置 科学技術・理科教育推進モデル事業 (理科大好きス クール) 実践発表会開催 プール全面塗り替え工事終了	39 高玉 敬輝	
17	町村合併により、栗原市立沢辺小学校と改称 国立教育政策研究所指定「我が国の伝統文化を尊 重する教育に関する実践モデル校」 (H17) 第1回「沢辺子ども和太鼓フェスティバル」を開催		18 石川 淳
18	文科省指定「豊かな体験活動推進事業・体験活動推進地域推進校」 (H18・19) テレビ電話シ ステムを活用した横浜市市場小学校との交流学習開始 自主防犯組織「沢辺安全安心隊」発足		
19	市防災無線屋外拡声局設置工事 (藤兵衛山西側)	40 佐藤 好勇	19 鈴木 勝浩 20 鈴木 健
20	校舎西階段手すり設置 県教委指定「学向上サポートプログラム事業」 よい歯の学校表彰 災害 (震 災) 復旧工事 (~10月終了) 第40回県花壇コンクール入賞 ※ 岩手・宮城内陸地震 6月		
21	AED設置 校内LAN整備・PC更新 京都教育大学准教授 相澤雅文先生 (本校卒) 特別授業開催 下水道接続	41 千葉 文彦	
22	教室に地デジテレビ設置 劇団四季ワークショップ		
23	東日本大震災発生 (体育館・校舎等の災害復旧工事) 学芸会をドリームパルで実施 1/2成人式を実施		21 二階堂修一
24	金成地区小学校交流活動実施 閉校実行委員会活動開始	42 小野寺 亨	
25	沢辺小学校閉校 (閉校式 H26年2月22日)	43 後藤 壮治	22 久我 一仁





## 学校の概要

### 学区の概要

本校は栗原市金成の西端を南北に走る国道4号線沿いにあり、北西に栗駒山を仰ぎ、校庭の南面には、西館「藤兵衛山」が横たわり、四季折々の美しい景観に親しむことができる。

学区は、金成耕土の南西部に位置し、市街地のある沢辺地区と起伏の多い周辺の丘陵地に沿って農家が点在している南東部の姉歯、西部の小堤の3地区からなっている。

沢辺地区は江戸時代宿場町であった商業地域の沢辺町地区、栗原市役所金成総合支所、郵便局や公民館、病院のある駅前地区、住宅が集合している学校周辺の宇南地域にほぼ3分される。就業状況は、肥沃な金成耕土を生かし米作中心の農業が営まれており、小堤地区では、丘陵地を生かしたりんごの果樹栽培が行われている。



### 学区略図



### 校木・校章・校旗

#### 校木「こうやまき」

こうやまきは昭和59年4月1日に、校木として制定された。藤兵衛山中央にそびえたっている。裸子植物ですぎ科の常緑高木である。



#### 校章の由来

中央が源氏螢、左右が松の葉を表している。これは、沢辺が「源氏螢」発祥の地であることと、歴史に名高い「姉歯の松」をイメージして制作されたものである。







校舎のようす

学校平面図



校舎配置図





初代	境澤 弥助	校長	明治13年 1月～明治17年 10月
第2代	梶國謙三郎	校長	明治17年 10月～明治20年 2月
第3代	大津 千尋	校長	明治20年 2月～明治21年 1月
第4代	金野 清	校長	明治21年 1月～明治22年 6月
第5代	齋藤 勇七	校長	明治22年 8月～明治32年 5月
第6代	菅原 臣六	校長	明治32年 5月～明治34年 5月
第7代	齋藤 勇七	校長	明治34年 7月～明治35年 9月
第8代	狩野橘次郎	校長	明治35年 10月～明治38年 8月
第9代	大津 千尋	校長	明治38年 8月～明治41年 3月
第10代	工藤藤太郎	校長	明治41年 3月～大正 9年 9月
第11代	阿部倉之助	校長	大正 9年 10月～大正11年 10月
第12代	鹿野 毅	校長	大正11年 11月～大正15年 3月
第13代	金田 國三	校長	大正15年 3月～昭和 6年 4月
第14代	菅原 哲	校長	昭和 6年 4月～昭和10年 3月
第15代	千葉 源太	校長	昭和10年 3月～昭和15年 9月
第16代	佐々木信平	校長	昭和15年 9月～昭和17年 3月
第17代	佐藤 啓吾	校長	昭和17年 3月～昭和21年 3月
第18代	久我 瞭一	校長	昭和21年 3月～昭和22年 3月
第19代	泉田 忠雄	校長	昭和22年度～昭和24年度
第20代	千葉 長治	校長	昭和25年度～昭和26年度
第21代	佐々木 茂	校長	昭和27年度～昭和30年度
第22代	高橋 功	校長	昭和31年度～昭和36年度
第23代	小野寺克巳	校長	昭和37年度～昭和40年度
第24代	千葉 英夫	校長	昭和41年度～昭和42年度
第25代	姉齒 壽	校長	昭和43年度～昭和44年度
第26代	上坂 敬信	校長	昭和45年度～昭和48年度
第27代	菅原 正平	校長	昭和49年度～昭和52年度
第28代	小岩康次郎	校長	昭和53年度～昭和56年度
第29代	澤邊 利朗	校長	昭和57年度～昭和58年度
第30代	相澤 浩二	校長	昭和59年度～昭和60年度
第31代	佐藤 眸	校長	昭和61年度～昭和62年度
第32代	佐藤欣一郎	校長	昭和63年度～平成 元年度
第33代	小野寺和夫	校長	平成 2年度～平成 4年度



- 第34代 松田 節郎 校長 平成 5年度～平成 6年度  
第35代 菅原 重悦 校長 平成 7年度～平成 9年度  
第36代 千葉 孝雄 校長 平成10年度～平成11年度  
第37代 阿部 徹 校長 平成12年度～平成13年度  
第38代 中川 肇 校長 平成14年度～平成15年度  
第39代 高玉 敬輝 校長 平成16年度～平成18年度  
第40代 佐藤 好勇 校長 平成19年度～平成20年度  
第41代 千葉 文彦 校長 平成21年度～平成23年度  
第42代 小野寺 亨 校長 平成24年度  
第43代 後藤 壮治 校長 平成25年度



学び舎を見守り続けた  
二宮金次郎像



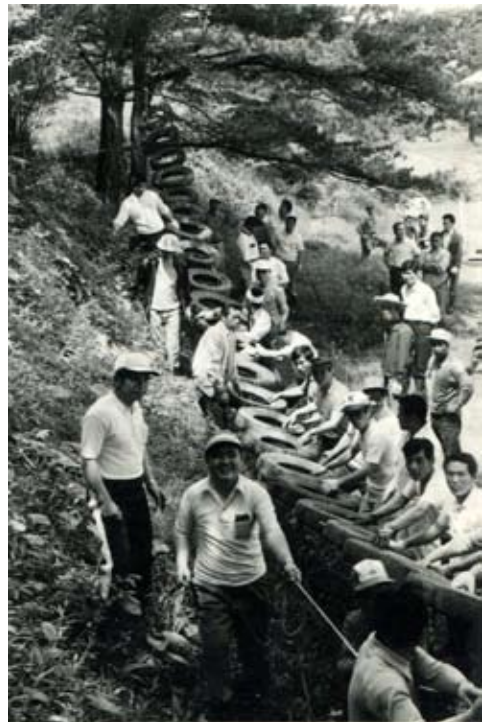
### 沢辺小、中学校3回勤務の思い出

第27代校長 菅原 正平

私が沢辺小学校に赴任したのは、昭和49年である。今齡90才の自分にとっては、忘却の部分が多い。実は昭和22年沢小に勤務、6年生を担任、更に同じ生徒を沢辺中学校3年生として担任、その教え子の子弟を校長として預かることになった。何と云う巡り合わせでしょう。3回目の勤務、この子どもたちの為、命のある限り、全霊を捧げる決心をしたのである。

ところが現場を見ると施設の殆どが甚だしく老朽化が進んでいた。一例を挙げると教室の裏板に雀が巣作りし、その雛を餌に裏山から「青大将」が登ってくる。又通学路は交通が頻繁で児童の登下校は全く危険に曝され、遂に男児が登校時乗用車に飛ばされ、即死の事故が起きた。このような悲惨な事故から一刻も早く脱却し、安全、安心楽しい学校生活を送れる様環境を改善してやるのが私の使命と考え、学校の新築を始め毎日東奔西走、環境の改善に努力、地域の皆さんの協力をお願いした。その甲斐があつてすばらしい立派な学校が新築された。落成と共に感謝感激地区の皆さんとよろこび合った。

このような次第で校舎の閉校よりも開校の為の記念寄稿になったことをお許し下さい。新校舎に一日も入らないで転任。閉校後有効に活用される様願いたい。



奉仕活動（昭和52年度）

### 藤兵衛山とともに

第33代校長 小野寺 和夫

沢辺小学校が、旧町内の4校とともに閉校になるということは、時代の趨勢とはいえ、誠に残念でなりません。

私は、昭和39年度からの6年間と平成5年3月に定年を迎えるまでの3年間、沢辺小学校に在職しました。在職中に一番長く勤務し、思い出も多い学校でありました。

最初の6年は、社会科や算数、国語などの指導法の研究に熱心に取り組みました。学校行事の改善などにも工夫をこらしました。

総勢150名の鼓笛隊の華やかなパレードと演奏が藤兵衛山に轟き研した運動会の様子などは今でもこの間のように思い出されます。

最後の3年は、教え子たちの子ども、つまりは、孫の世代を預かることとなり、楽しいながらも、責任の重さが感じられる日々でした。

沢辺出身の偉人、沢来太郎の祖先で臥牛館の館主、沢辺修理亮の次男、沢藤兵衛の居館跡だった藤兵衛山一帯は、大正の頃、沢家の好意で、町裏から移転する沢辺小学校の新しい校地となったのであろうと思われます。

この四季折々に美しい藤兵衛山は、国道の騒音を吸収し、静かな環境を守ってくれます。

沢辺小の跡地が、この藤兵衛山とともに沢辺の人々の生涯学習の場、交流と憩いの場として活用されていくよう切に望んでいます。



藤兵衛山（平成3年度）



## 「太鼓のリズム」をお土産に

第34代校長 松田 節郎

平成6年度の修学旅行を、二泊三日で実施させていただきました。1日目は、鶴ヶ城などの見学が主で、2日目は体験学習を組み込んだのです。特に、太鼓打ちの成果を学習発表会で披露することを約束していました。

2日目の午後の体験、太鼓打ちです。はじめて“ばち”を手にする子どもたちだけに、最初は恐る恐る太鼓をなでているようでした。打ち出される音も、弱々しく単なる雑音としか聞こえません。打ち方の構え、強弱や間の取り方などを教えられ、時間がたつにつれて太鼓の音が力強くなり、統一されたものになってきたのです。その変容ぶりを子どもたちは、心と体で受け止めていたようです。夢中になって“ばち”を持つ姿、多くの技を学び取ろうとしていた姿は、美しいものでした。(平成6年5月のこと)

秋の学習発表会を迎えました。その半月前に5個の太鼓を借り集め、担任の指導により練習がはじまりました。そして本番、5月に会津で体験してきた太鼓の技を披露してもらいました。見事な音でした。たった半月学んできたのに、それも短時間で心にずしりと響くような音に再現できた子どもたちの心根に驚かされたものでした。快い太鼓の響きが今でも聞こえてきます。

修学旅行(体験)のおみやげでした。



修学旅行での体験学習(平成6年度)



学習発表会(平成6年度)

## 新たな地域の拠点づくりのスタートを

第35代校長 菅原 重悦

私は、平成7年度に着任しました。地域づくりが重要と思い、教職員の方には「接客・接遇」を、保護者の方には「地域の一員であることを忘れないで」とお願いしました。

当時の新聞には「伝統文化の継承が困難である」とありました。伝統文化の継承は、まちの活性化のバロメーターです。子どもたちがふるさとを大事にする心、ふるさと教育の推進をねらい、角田の関先生のご指導のもと、「藤兵衛太鼓」を結成しました。6年生から5年生への引き継ぎ行事を毎年行い、金成町の「生涯学習ふれあいフェスティバル」で堂々と発表することができました。

また、子どもたちに自信をつけさせたいと思い、当校の先輩であり、大学教授の阿部兼也先生に特別授業をしていただきました。「文字ってなに？」をテーマ



生涯学習ふれあいフェスティバル～けやき会館(平成9年11月23日)

にお話していただき荀子の詩「青は之れを藍に取りて、藍よりも青し」と掛け軸に書かれ、贈っていただきました。「後輩達よ、先輩を乗り越えて」という意味です。子どもたちには、沢辺小学校で学んでいることを誇りに思い、どんな困難にも立ち向かってほしいと願いました。

沢辺小学校は、地域社会のよりどころでした。沢辺小学校、ありがとう、さようなら。

新たな地域の拠点づくりをはじめましょう。



青は之れを藍に取りて、藍よりも青し



### 沢辺小学校閉校にあたって

第36代校長 千葉 孝雄

「会うのは別れの始め」ということわざがある通り、沢辺小学校閉校、大変残念です。

私達公職についている者は、伝統あるこの小学校で同じ釜のめしを食べ、児童の教育に全精力をつぎこんできた仲間として、心と心のつながりは、永久に忘れないものであると信じます。この心の絆を今後も大切にしていきたいものです。

教職員の皆様には、沢辺小での勤務年数や仕事の違いはありましたが、在職中は教職活動のため、本当に身を粉にして取り組んでいただきました。

学校行事等には、地域やPTAの皆さんと目配り、気配り、心配りをされ、子どものことに、常に耳を傾けてくれました。

「教育は人なり」と言いますが、よい職場の雰囲気からよい子どもが育ち、よい地域が育ったものと思います。

在職中の平成10、11年度、文部省の研究指定を受けて第8回上廣徳徳教育賞の小学校の部で最優秀賞に輝きました。地域住民を先生に、豊かな心をはぐくむ教育が評価されたものであります。

最後に、教職員の皆様と地域、PTAの方々の御健康と御活躍を祈念して閉校記念の御挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

文部省指定公開（平成11年度）



### 恵まれた環境のもとで

第37代校長 阿部 徹

沢辺小学校には、僅か2年の勤務でしたが、思い出は擬縮されています。中でも学校のシンボルとも言える藤兵衛山での体験活動は、地域やご父兄の皆様方からの協力もあって、子どもたちの情操をはぐくみ、逞しく生きる原動力となりました。

「鬼ごっこや探検に夢中になって遊んでいる子どもたち」「地域の方々から沢辺小学校の今と昔について学んだり、昔の遊びに興じる子どもたち」「雀が死んでそとと墓を作ってあげていた子どもたち」。又、藤兵衛山を駆けめぐる「クロスカントリーレース」が行われたり、「藤兵衛山太鼓」も伝承芸能として受け継がれ、いろんな機会に披露されてきました。さらには、当時のPTA会長であった加藤さんの発案で炭焼きづくりに挑戦したり、子どもたちやご父兄、地域の方々と共にバザーをやれたことも良き思い出です。

「環境は人をつくる」と言われますが、正しく藤兵衛山は、子どもたちや大人にとっても大きな心の支えとなっていました。

沢辺小学校は、来年度からは金成小中一貫教育校として生まれ変わりますが、これまで培ってきた良き伝統を風化させることなく、特色ある学校づくりを目指してさらなる発展を願っております。



芋ほり（平成13年度）





## 沢辺小学校の思い出

第38代校長 中川 肇

思い出はたくさんありますが、私が赴任した平成14年度は、教育環境が大きく変わった年でした。学校週五日制の実施、併せて学習内容の変更、9月からは金成町での学校給食の開始、そして、5月の運動会終了から12月20日までの沢辺小学校の大規模改修工事がありました。

特に大規模改修工事については、西半分東半分と分けて行き、それに従って教室を移動して学習に支障をきたさないようにしました。

学校にある備品・用品の移動作業のほとんどを保護者の方々にお願ひしました。12月22日の最後の引っ越しまで4回のご協力いただいたと思います。児童は3学期からきれいになった校舎を使用し、1月19日には、地域の方々や保護者の方々をお招きして校舎見学会を行いました。



花山キャンプ（平成15年度）

また、こんなこともありました。平成15年12月4日には金野鳴紗さん（3年生）が、太白山自然観察の森でめずらしい「きのこ」を発見しました。専門家の鑑定で県内初と思われる「トリュフ」とわかり、2月8日の新聞にも掲載されました。

四季それぞれの藤兵衛山の彩りと藤兵衛太鼓のドンドコドンドコという響きは、今も私の体に記憶されています。

## 沢辺小学校の閉校にあたって

第39代校長 高玉 敬輝

沢辺小学校付近の道路を通過する度に、当時のことが脳裏に浮かんできます。

子どもたちの良き遊び場であり、四季折々美しい姿を見せる藤兵衛山。教室で一生懸命学習している姿。校庭で、元気に楽しく遊ぶ姿。学校行事や対外行事での活躍など、懐かしく思い出されます。

少子化の影響で金成地区も学校再編を余儀なくされ、140数年の歴史に幕を下ろし、閉校になることは残念でなりません。時代の趨勢と受け止めざるを得ません。

私が沢辺小学校でお世話になったのは、平成16年～平成18年度の3年間でした。その中で思い出として強く残っていることは、平成16年11月に文部科学省指定「科学技術・理科教育推進モデル事業—理科大好きスクール」の公開研究実践発表会を開催し、県内外の先生方200名以上の参加のもと、研究実践授業や熱気球での体験授業（岩出山バルーンクラブ）、日本の教育界の第一人者、梶田叡一先生（京都ノートルダム女子大学学長）の講演等で研究会が成功裡に終了したこと。

平成17年9月にはテレビ電話で、横浜市立市場小学校と映像を通して交流学習会を行い、学校生活や行事・地域の様子を紹介し、交流を深めたこと。

同年11月には国立教育政策研究所指定の「我が国の伝統文化を尊重する教育に関するモデル事業」で「沢辺子ども和太鼓フェスティバル」を開催し、県内各市町村の小学校のクラブや愛好会が出演し、藤兵衛太鼓や伝統的な太鼓・創作太鼓を地域の方々に披露したこと等。先生方や子どもたちが全力で頑張った姿です。

また、困った問題や事故もなく、楽しく勤務することができたのも、熱意ある先生方とPTAや地域の皆さんの温かいご支援のお陰だと思っております。

新しい学校では、子どもたちが沢辺小学校出身の誇りをもち、目標に向かって力強く歩むことを願っております。



熱気球での体験授業（平成16年度）







### ありがとう沢辺小学校

第41代校長 千葉 文彦

2011年4月14日、学校が再開し、子どもたちが登校してきました。久しぶりの友達や先生との再会で、子どもたちは自然と笑顔になりました。その姿を見ている職員、保護者や地域の方々にも笑顔がもどりました。「学校はみんなが幸せになるためにある」ということを改めて実感した一瞬でした。

3月11日と4月7日に発生した大地震は沢辺地区にも大きな被害をもたらし、学校の校舎も壁面や柱にひび割れが多数、体育館の床は波打ち、体育館と校舎を結ぶ2階の渡り廊下も通行不能となりました。学校再開に向けて「みんなが幸せになるために私たちができることを精一杯やろう」を合い言葉に全職員で取り組んだこと、「沢小の先生方はがんばっている」「子どもたちのためにここまでしていただいて感謝している」等、保護者や地域の方々から多くの励ましやご協力をいただき学校を再開できたことは今でも忘れられない出来事です。また、再開後の運動会や陸上大会での子どもたちの活躍、ドリームパルでの学芸会の実施等も忘れられない思い出です。

何よりも、元気な子どもたち、信頼できる職員、協力的な保護者のみなさん、支えていただいた地域のみなさんに出会えたことは私の一生の宝です。ありがとう沢辺小学校。

学校キャンプ(平成23年度)







## 受け継ごう！沢小パワー

第42代校長 小野寺 亨

沢小の勤務は1年だけでしたが、私にとっては教職最後の年であり、また旧金成町出身であったこともあり、思い出に残るとても大切な1年間でした。

沢小の子どもたちは明るく活発で、何事もひたむきに頑張る姿が印象的でした。休み時間にグラウンドや藤兵衛山で仲間と夢中になって遊び、授業中は真剣そのもの、短い清掃時間も懸命に働き、藤兵衛太鼓の練習に打ち込む姿も素晴らしく、沢小のパワーを大変強く感じさせられました。PTA活動も活発で、各種行事への協力体制もよく出来ていました。また、閉校記念事業への取り組みも大変意欲的で、区長さん方のバックアップもよく、沢辺のパワーが、子どもたちに反映されていると思いました。

沢辺の歴史を調べると、金成地区の発展に大きく貢献してきたことが分かり、その源は沢小にあると思いました。沢小の歴史を子どもたちや保護者の皆様にお伝えしたつもりですが、詳しくは閉校記念誌をご覧頂きたいと思います。小中一貫教育校の新生金成小学校となっても、沢小のパワーを受け継いで、「志をもった活気のある金成っ子」を目指し、国内外の大舞台でたくましく活躍する人材に育てていってほしいと心から願っております。

藤兵衛太鼓（平成24年度）



最後の運動会（平成25年度）





6年前の1年生の入学式からスタートし、頑張った運動会、学芸会で大笑いしていただいた「おばけじぞう」の劇、祖父母とのふれあい、そして毎日の学習等々楽しい日々を過ごしました。学校再編の話が出たのもこの年でした。あれから、あっという間の6年間。2度の大きな地震に見舞われましたが、沢辺の地域の皆様、保護者の皆様のご協力のおかげでなんとか学校生活を取り戻すことができました。心に残る思い出が一杯です。ありがとうございました。

高橋 弘子

2年間、沢辺小学校でお世話になりました。短い期間ではありましたが、充実した2年間を過ごさせていただきました。すぐ反応してくれるめんこくてエネルギー溢れる子どもたちとの毎日、とても楽しかったです。それを全面的にバックアップしてくれる保護者の皆さん、とても助けていただきました。そして温かく見守ってくださる地域の皆さん、全てに感謝です。子どもたちの声が響く校舎…思い出です。どうもありがとうございました。

水谷 綾

かつて金成支援学校に勤務していたので、この沢辺で再び過ごせることをうれしく思い、3年前赴任しました。震災直後に赴任し、体育館も使えず、給食もしばらくの間は簡易給食だったことが思い出されます。そのような中でも、いつも元気な子どもたちが学校を明るくしてくれました。各行事、参観日などでは、保護者のみなさんの出席率やまとまりがすばらしく、子どもたちや学校に寄せる思いの強さを感じました。たいへんお世話になりました。

鈴木 英美

桜・新緑・紅葉・ソリ滑り、四季折々の美しさを楽しませてくれる藤兵衛山。この自然に囲まれた沢辺小学校に私が赴任したのは、7年前のことでした。純朴で活気に満ちあふれた子どもたち。学校に協力的で支えになってくれる保護者の皆さん。そんな沢辺小学校が大好きで、あっという間に時間が経っていました。

休み時間に響きわたる笑い声。運動会でみせる団結力。学芸会での迫真の演技力。底力のある子どもたちと一緒に勉強できたことを忘れません。地域の人々に愛され、地域と共に歩んできた伝統ある沢辺小学校。閉校しても、ここで学んだ子どもたちの心の中には、間違いなく沢辺の教育が生きていきます。私にとっても大切な宝物です。

遊佐 香織

閉校延期により、再び最後の1年間を勤務させていただくことになりました。外遊び大好きの私にとって、藤兵衛山はとても楽しいフィールドでした。そして、密かな楽しみは音楽室からの美しい秀峰栗駒山と名峰焼石岳の眺め。もちろん、素直でかわいい子どもたち。4年生の子どもたちとの学習だけでなく、体育的行事担当として運動会や水泳・陸上大会への練習で活動できたことは大きな楽しみでもありました。沢辺小学校での思い出をいつまでも大切な宝物にいたします。

阿部 敏彦

閉校までの4年間お世話になりました。学校の行事に高学年児童とともに取り組むことが多く、素直でよく働く子どもたちがいつも行事を盛り上げてくれました。保護者の皆さんも協力的で、一緒に行事を作り上げてきたように感じています。藤兵衛山での縦割り遊びやソリ遊び、校庭にテントを張って泊まった学校キャンプ、2度の大きな地震、肩を寄せて迎えを待った校庭。どれも忘れられません。ありがとう、沢辺小学校。

安達 祥子

他の地域をわたり歩き、私にとって7年ぶりの栗原への復帰、それが沢辺小学校でした。広い校庭、緑の藤兵衛山、そして元気いっぱい子どもたち、沢辺小に来てよかったと感じました。さらに、ことあるごとに学校に絶大なる協力してくれる保護者のみなさんや地域のみなさん、その団結力はすばらしいと思います。まさに日本一の沢辺小学校です。閉校になることは赴任した時から分かっていたのですが、いざその時を迎えるとやはり寂しいものです。地域の宝、沢辺小学校いつまでも心の中にしまっておきたいと思います。

濱 正志

5年前沢辺小学校に赴任しての歓送迎会で「なかよしの教室にみんなが遊びに来てくれるようにしたい。」と、夢を語りました。特別支援の子どもたちが温かく守られ、みんなの中で豊かに育っていくようにしたい、と思ったのです。今、なかよしの教室から遊んでいる子どもたちを見て、5年前に夢見たような学校になっている、と感じています。ありがとう沢辺小学校、私も沢辺小学校での5年間を一生の宝物にします。

岩淵 淳子





6年前、5人の先生方と一緒に赴任してきました。以来、特別支援学級の担任として、子どもたちとかがわってきました。当時を思い起こせば、元気あふれる子どもたちの言動に驚いたり、心ない言葉を耳にしたりすることがありました。でも、今では、ルールを守って生活をしたり、明るく元気な挨拶が聞こえたり、笑顔がたくさん見られたりする学校に変わっています。これは、保護者の皆様や地域の皆様のよりよく子どもたちを育てたいという強い思いと協力、見守りのおかげだと思います。学校と保護者、地域の皆様の思いが一つになり、みんなにも誇れる学校に変貌できた体験をすることができた沢辺小学校に感謝いたします。忘れられない学校です。ありがとう！

金野 孝子

私は、平成24年度から25年度にかけてお世話になりました。2年間という短い間でしたが、心に残る思い出がたくさんあります。中でも印象に残っているのは、藤兵衛太鼓のすばらしい演奏でした。体育館いっぱい響き渡る太鼓のすばらしさは、今でもよみがえってきます。

また、冬の藤兵衛山校園で、そり滑りに興ずる子どもたちの笑顔も忘れられません。沢辺小ならではの光景ではなかったかと思えます。短い間でしたが、沢辺小に勤務できて本当に良かったと思えます。

熊谷 潤

沢辺小学校4年間の勤務で一番衝撃的だったのが、東日本大震災です。あの時、私は職員室にいて、地震発生で玄関の出窓付近が崩壊し、外にいた子どもたちは泣いたり、校舎に向かって走り出したりしました。当時の長崎教頭先生と二人で外に飛び出して向かって来る子どもたちを抑えました。

学校も2ヶ月間臨時休校、その後学校に戻ってきた子どもたちは緊張感のためか、とてもりっぱな子どもたちでした。あの思いをいつまでも忘れずどんなことにもくじけないで、生きる力を発揮する社会人になって欲しいと思います。

小泉 清孝

「えっ、沢辺小！！」転勤先を告げられた私の第一声です。まさか自宅前の学校への転勤はないと思っていたからです。

それから7年。私にとっては幸いでした。おかげで自分が住んでいる地域の良さを知ることができ、沢小の閉校と共に職を退くことができます。そして何よりかわいい子どもたちと出会うことができ、お家の皆さんともいろいろなお話ができました。学校は閉校になりますが、地元で沢小の子どもたちの活躍を応援していきます。

後藤さち子

この金成地区内には、萩野第二小学校・津久毛小学校と勤務した経験もあり、車で4号線の沢辺小学校脇を通る度に、ソリ滑りなど藤兵衛山で元気に遊ぶ子どもたちを見るにつけ、自然に囲まれた沢辺小学校を羨ましく思っていました。学校事務として4年間勤務させていただきました。3.11東日本大震災もこの沢辺小学校で遭い、災害復旧工事も経験させていただきました。でも、勤務した学校が無くなるというのは何とも寂しい限りです。思い返してみれば、栗原農業高校、築館高校、そしてこの沢辺小学校……。この沢辺小学校は閉校となりますが、栗原地区で初めての小中一貫教育校で、沢辺を初めとする金成地区の子どもたちのさらなる活躍を応援しています。

川本 広巳

今年度4月より業務員として沢辺小学校に勤務することになりました。市の広報などにより今年度限りで閉校とのこと、誠に残念です。開校以来141年の長い間、時代を歴史と共に児童と見守り育んできたことと思います。

来年度から新たに学府くりはらの一貫教育校として、社会の中でたくましく生きる子どもたちを家庭、地域と学校が協働して教育活動を展開することを願っています。本当に沢小ご苦労様でした。

高橋 光弘

1年間という短い間でしたが、毎日明るく元気な沢辺小学校の皆さんと過ごすことができるとてもうれしく思っています。

皆さんの周りには、どんなこともいろいろ話せる友達が、心が安らぐ家族の皆さんが、いつも温かく見守って下さる地域の方々が、困ったときに相談に乗ってくれる学校の先生方がいます。たくさんの方々に支えられ、応援していただいていることに感謝しながら生活してほしいと思います。

小野寺英司



# 沢辺小の思い出

## みんななかよし1ねんせい

えんそくで、おべんとうをたべました。サンドイッチがおいしかったです。みんなで、たのしいおはなしをしました。

えんそくにいきました。かえるとき、でんしゃにのりました。すごくはやくて、びっくりしました。こんど、またのりたいたいです。

にわとりのたまごが、あったかかったです。にわとりさんがうんだたまごが、きれいでした。また、いきたいです。

ぼくは、かんじをはじめてならいました。いちは、まっすぐだとおもってたのに、ちょっとうえにいったので、びっくりしました。

えんそくにいくバスの中で、おともだちとしりとりをしました。わたしは、「ん」のつくことばをいってしまいました。

えんそくのおひるごはんにかつサンドをたべて、おいしかったです。あめもふらなかつたので、おはなばたけでたべました。

えんそくにいきました。さかみちをあるいておりるとき、きつかったです。はながきれいでした。







すいえいたいかいをしました。  
がんばったことは、けのびです。  
れんしゅうのときより、たつのが  
すくなくなりました。だから、う  
れしかったです。



わたしは、はじめてカタカナをならいました。いろんなカタカナをがんばり  
ました。

わたしは3じかん目にたいいくで、のぼりぼうをしました。のぼりぼうをい  
っぱいのぼれました。だいすきです。

すいえいたいかいをしました。がんばりました。

えんそくで、やぎがいました。かれはしかたべないので、みどりいろのはっ  
ぱをはさんであげてみたら、たべていました。みんなでたのしくあげました。

バスで おともだちと、 かんばんさがしをしました。かんばんが24こあっ  
たので、びっくりしました。





# 沢辺小学校の思い出

## 2年生

☆ なわとびのあやとびがうまくなりました。いっぱいれんしゅうして、十一回いじょうとべるようになりました。前とびや後ろとび、大なわもできるようになりました。

☆ とうべえ山が、いつもぼくたちのことを見まもってくれていました。そりすべりやおにごっこをしてあそびました。からたちのみをとったりしておもしろかったです。

☆ わたしは、一りん車のれんしゅうをしました。手をはなしてとおくまでできるよう、友だちといっしょにがんばってれんしゅうしました。

☆ のぼりぼうをしました。のぼる時は、すぐくむずかしかったです。一年生の時は、二本でやってできました。二年生になったら一本でもできるようになりました。

☆ そりすべりをしてあそびました。友だちと二人のりをして、すぐくすすむのがはやくてびっくりしました。友だちと前と後ろをこうかんしてのりました。

☆ 「いきものひろば」では、ナマズやカナヘビなどたくさんのおきものがありました。ナマズはぬるぬるしてすべりやすかったです。







☆ 学校たんけんがこころのこっぺいます。いろんな教室に行けたし、やさしい先生にあつたりしたからです。ほねのもけいやなべがあつたのがびつくりしました。

☆ 一年生の時にあさがおをそだてました。おうちにもつて行ってからすぐそだつて、一年生の教室のてんじょうまでとどきました。たねが五百四十五こもとれました。

☆ みんなでサッカーをしました。まけるとくやしいので、まけないようにがんばりました。けんかをするこもあつたけど、すぐになかなおりをしました。

☆ 一年生の時、そりをしました。さいしよはじょうずにすべりましたが、つぎにすべつたらころんでゆきまみれになりました。こおりにたいす。つめたかったで

☆ みたいいくの時間にみんなとつぼろにしつこところにのこつています。いろんな教室に行けたし、やさしい先生にあつたりしたからです。ほねのもけいやなべがあつたのがびつくりしました。



☆ かんしゃの会で、おじいさん、おばあさんとふれあひ活どうをしました。おじいさんとおばあさんが、まめつかみやわなげを樂しそうにしていたのでよかつたです。

☆ 一年生の冬、とうべえ山でそりすべりをしました。なれてきたら樂しくなつてきました。おともだちとすべつたら、はやくてゴールでころんでしまひました。

☆ 生活科で町たんけんに行きました。くがやさんには、金のバックやきれいなぬのがあつてすごかつたです。新しいたいいくぎもたくさん売つていました。

☆ 夏にサッカーをやりました。みんな、サッカーがすきです。六年生もやつているので、よく見てまねをしまひました。それでみんなとくになりまひました。

☆ 冬にそりあそびをしました。おともだちとのりまひました。スピードがはやくて、ひっくりかえりそうになつてこわかつたです。さむかつたけど樂しかつたです。

☆ さつまいもほりで、大きいさつまいもや小さいさつまいもがとれたのがこころのこっぺいます。六年生や五年生といつしよにほつて、たくさんとれてよかつたです。





沢小の思い出 パワーいっぱい  
3年生



○三年生になってチャレンジしたハードルのことが思い出に残っています。最初はハードルをたおしてしまっただけで、練習しているうちにたおさないでできるようになりました。おともうれしかったです。ハードルがもつとうまくなりたいです。

○友達とサッカーをしたことが楽しかったです。業間時間にパッと外に出てPKの練習をしました。けんかもしたけれど、大好きな友達といっぱい遊んだことをわすれません。もつと練習してサッカーがうまくなりたいです。

○二年生の造形展で版画を作り、県に展示されたことがうれしかったです。一生懸命作りました。へ海ぞく船が大変だ！というテーマでぼくのお気に入りの作品です。がんばって作ってよかったなあと思っています。

○三年生で遠足に行ったことが楽しかったです。勾当台公園でみんなでお弁当を食べました。何だかいつもよりおなかへって、特においしかったです。おかしのおふくろが風でふきとばされてびっくりしました。みんなが追いかけて、拾ってくれました。みんな、ありがとう。

○理科の時間にみんなと「かげつなぎ」をしたのが楽しかったです。十六人がいっしょにやりました。みんながながいかげつなぎをしたので、十六人がいっしょにやりました。みんながながいかげつなぎをしたので、十六人がいっしょにやりました。

○遠足で、県警・県庁・勾当台公園に行ったりが楽しかったです。NHKではいろいろな体験ができました。アフレコ体験ではおじや丸の声優役を体験しました。友達と地下鉄に乗ったことも思い出に残っています。切符は記念になりました。もちろん大切にとっています。

○三年生の学年行事でドッジビーをしました。ぼくたちのチームはみんな力で力を合わせて大人のチームに勝つことができました。とてもうれしかったです。遠足でみんなが地下鉄に乗ったことも思い出になりました。またみんなで行きたいです。

○藤兵衛山の遊具で遊んだことが楽しかったです。とくにおもしろかったのは、ブランコです。みんな順番を守って、二十回ずつこぎました。自分の番が早く来るようにと待っているのも楽しかったです。みんながなかよく遊びました。



○遠足で行ったNHKでは、本物のスタジオを見たり、アナウンサーの体験をしたり楽しい経験ができました。特にアフレコ体験で、友達がおじやる丸の言葉話したのが楽しかったです。テレビのアニメは、ああやってできるんだなあと感じました。

○三年生になってクロールの息づきができるようになりました。たくさん泳げるようになって、む中で泳いでいるとかべに頭をぶつけてしまいました。いたかったです。水泳大会では二十五メートルを立たないで泳ぐことができてうれしかったです。

○夏休み明けに、学校にテレビ局が来ていてびっくりしました。県内で一番早く始まるからうつしにきたそうです。テレビにうつるのは「はずかしいなあ」と思っていましたけれど、テレビを見るとうつつっていました。残念だったようなよかったです。あ、「いつたいどっちだったのかなあ」とふしぎな気持ちでした。

○一年生の時には、友だちといっしょに、じゅうを買いました。それにダンボールで作ったじゅうをもらったりしました。今は友だちはいないけれど、今、友だちもがんばっていると思います。

○雪がふった時に、藤兵衛山でそり遊びしたことが心に残っています。何回もころびながら苦ろうして登って、すべるのはアツという間でした。雪の日におにごっこをしてツルツとこるんだこともいたかったけれど、楽しかったです。



○運動会の徒競走では、男子三人の中で女子は何と私一人でした。どうしようかと困ってしまいました。本番でもとてもきんちょうしました。でも、がんばって走ることができました。全校でやったへ大玉ころがしもみんなで力を合わせて楽しかったです。

○二年生の遠足でミルク工場に行ったら楽しかったです。でも、ちがう方を見たりしていたら、見学に集中できませんでした。おべんとうを工場で食べたのが、いつもよりおいしかったです。



○夏にプールで泳いだことが心に残っています。もぐることしかできなかったのに何回も練習して二十五メートルを泳げるようになりました。水を飲んで苦しくなったこともありましたが、友達と一緒に夏のプールで泳いだことは楽しかったです。





一番の思い出は、運動会です。理由は、徒競走で一位をとれたからです。そして最後に「がんばったね」と言われてうれしかったからです。とっても楽しい運動会でした。こんどの学校の運動会でもがんばりたいです。

私は、遠足で、お弁当を食べたり、おかしを食べたり、天台に行つて、月を見たりしたことが、楽しかったです。こけしやでは顔やきものを書いて、自分のこけしを作ったのが楽しかったです。

ぼくの思い出は、クラブです。理由は、パソコンをして楽しかったし、ゲームとかめいしを作ったからです。ほかに、カレンダーやいろいろなものをつくったのがたのしかったです。ポストカードもつくりました。

遠足の中で一番印象に残ったことは、こけし作りです。自分オリジナルのこけしが作れてよかったです。自分の顔に、にていておもしろかったです。沢辺小学校最後のいい思い出になりました。



沢辺小学校の思い出4年 沢辺小学校の思い出4年 沢辺小学校の思い出4年 沢辺小学校の思い出

ぼくの思い出は遠足です。理由はEグループのみんなと太陽の問題や宇宙の問題を協力して解けたので良かったです。お弁当も美味しかったし、おかしもみんなと分け合ってたたくさん食べて美味しかったです。

わたしは、校内水泳大会で、クロール五十mと、平泳ぎ二十五mと、フリーリレーを泳いだことです。どの泳ぎも、全力を出し切れたのでよかったです。これからも、いろんな泳ぎが出来るようになります。

ぼくの思い出は、遠足です。バスの中で、歌とクイズをやりました。プラネタリウムで太陽や星を見ました。次に、弁当を食べた後、おかし交かんをしました。友達といっしょにバスの中で司会して、楽しかったです。

一番の思い出は遠足です。ぼくは、プラネタリウムを見ました。次に外で弁当を食べた後おかしをこうかんしました。次に工芸の里に行つてこけしを作りました。ぼくのはおもしろい顔になって楽しかったです。

ぼくは、校内水泳大会で、クロール五十mと背泳ぎ二十五mと、フリーリレーにできました。クロールと、フリーリレーは一位でした。背泳ぎは初めてちようせんしていい結果が出たのでよかったです。

私の思い出は、運動会での徒競走です。私の前の一列が走り出したとき、私はどきどきしたけれど、走ることが得意だったのでじんがりました。でも二位でした。だけど一生けん命走れて良かったです。



ぼくの思い出は、校内水泳大会です。ぼくは、クロール五メートルに出場しました。それで、一位でした。少しだけきんちようしたけど一位になれてよかったです。次は、ちがう泳ぎもがんばりたいです。

ぼくがパソコンクラブでの一番の思い出は、カレンダー作りです。カレンダーの周りの部分が自分の好きなようにできましたし、インターネットでコピーしたのをはれたのでよかったです。

わたしの思い出は、運動会です。運動会の中でも、一番心に残ったのは、「南中ソーラン」をおどったことです。四年生なので、初めておどったけれど、わたしの中では、上手くおどれていたと思います。

ぼくの思い出は、校内水泳大会でフリーリレーをしたことです。ぼくと三人の友だちと泳ぎました。二位だったし、みんなちゃんと全力を出し切ったので、よかったです。

私の思い出は運動会です。理由は、初めて「南中ソーラン」を、おどるので、運動会当日に、失敗しないかとしんぱいでした。だけど、うんと練習していたので、運動会当日に失敗しなかったのでうれしかったです。

私の思い出は、クラブです。理由は、図工・イラストクラブなので、いろいろ物が作れるので楽しいです。特に楽しかったのは、自由工作でぼうえん鏡を作ったことです。きれいでできたのでよかったです。

### 沢辺小学校の思い出 4年 沢辺小学校の思い出 4年 沢辺小学校の思い出 4年 沢辺小学校の思い出

ぼくの思い出は学年行事です。親子ドッチビーや流しそうめんをやりました。切った竹の中にめんつゆをいれて食べました。めんこちゃんゼリーやチョコやぶどうなど、いろんなものが流れてきて楽しかったです。

ぼくの思い出は、遠足です。バスの中でクイズをしたり、歌を歌ったりして楽しかったです。天文台では色んなことを学びました。こけし屋さんでこけしに顔を書いて楽しかったです。帰りもクイズをして楽しかったです。

ぼくが一番の思い出は遠足です。遠足で行ったところが一番おもしろかったところは仙台市天文台です。天文台でよくおもしろかったところはプラネタリウムです。沢小最後の思い出になりました。

沢辺小学校での一番の思い出はクラブ活動です。理由は飛び出す絵本や一まい絵本や紙しばいなどいろいろ作って失敗をしたけれど楽しくみんなのできたのでよかったです。クラブが、終わっても作っていききたいです。





私の思い出は1/2成人式です。将来の夢を親の前で発表する機会はここしかありませんでした。お母さんからの手紙を読んで、泣いてしまいました。あの手紙はずっと持っています。

私の1番の思い出は、学校キャンプです。打ち上げ花火が思っている以上にすごかったです。肝試しは暗くて、前の班の悲鳴が聞こえて、すごく怖かったです。でもまたやりたいなあと思いました。

ぼくの1番の思い出は、学校キャンプです。肝試しは初めてで、すごく怖かったけど楽しかったです。陶芸教室やプール、バーベキュー、花火も楽しかったです。なかなか眠れなくて、朝は少し眠かったです。

私の沢小での思い出は、藤兵衛山校園です。1・2年生では生活科の授業で、3・4年生では理科の授業で行きました。5年生ではたてわり遊びで行くことができました。授業や遊びで藤兵衛山へ行くのが大好きだったし、すごく楽しかったです。

ぼくが1番心に残っているのは学校キャンプです。本当は6年生にならないとできない行事を5年生でやったからです。肝試しの前に友達のお父さんが怖い話をしました。肝試しは緊張緊張したけど、とてもおもしろかったです。

私の5年間での思い出は、3年生の学芸会です。震災があって体育館が使えず、ドリームパルでした。男の人の役ではずかしかかったけど、みんなに「うまいね」「すごい」とほめられて、とてもうれしくて、いい役をしたなあと思いました。

私の沢小での思い出は、学校キャンプです。初めて沢小に泊まって最初で最後のキャンプでした。カレー作りは練習しただけあって早くできました。肝試しは心臓がバクバクしてすごく怖かったです。いい思い出になりました。

ぼくの思い出は、運動会です。同じ組の人が、旗をふって応援してくれてうれしかったです。紅白対抗リレーには5回出ました。どの運動会もすごく楽しかったし、もっとこの学校にいたかったです。

初めて沢小に入った時、山があっぴゅりしました。そこではみんなが元気に遊んでいました。5年間ずっと見守ってくれた沢小とお別れになってしまいました。沢小で学んだことを大事にしたいです。

## 5年生のページ



ぼくの沢小の思い出は、学校キャンプです。陶芸やプール、すいか割り、肝試しをしました。肝試しの前に怖い話を聞いてすごく楽しかったです。本当はテントで、友達と2時半くらいまで起きていました。楽しかったです。

ぼくの沢小の思い出は、藤兵衛山校園です。初めて見たとき大きいなあ、すごい高いなあと思いました。登ると学校が見渡せます。春は桜、夏は葉が緑になり、秋にはもみじ、冬は斜面でそりが楽しめました。すごく楽しかったです。

私の心に残っているのは、4年生のPTA行事です。ハンターと流しそうめんをしました。お父さんたちがハンターになって、怖かったです。流しそうめんではフルーツも流れてきて楽しかったです。上の方だったので、取るのが大変でした。

ぼくの心に残ったことは、学校キャンプです。夜には肝試しをしました。怖かったけど、勇気を出して行きました。後ろから音がして、見たらかさのおばけがいました。「うわ～」と言って走りました。すごくいい体験ができてよかったです。





私の沢小での思い出は、水泳大会の練習をしたプールです。夏休みもほとんど毎日来て練習しました。飛び込みも初めは怖かったけど、練習して飛び込めるようになりました。5年間の思い出いっぱいです。

ぼくの1番の思い出は運動会で。低学年の時は足が遅かったけど、成長するにつれて速くなりました。大玉転がしが楽しかったです。リレーにも何度も出ました。負けたこともあったけど楽しい思い出です。

私の心に残っている思い出は、この5年間みんなと遊んだ休み時間です。1年生の頃はお姉ちゃんが遊んでくれました。3年生になると妹が来ました。妹ともたくさん遊びました。今は男子とサッカーをしています。

ぼくの思い出は4年生の学芸会です。そうべえ役でした。自分の演技にみんな笑ってくれて緊張がほぐれました。後半に交代したけれどみんな最後まで笑顔で見えたのでよかったです。5年生でもその演技で人を感動させたいです。

ぼくの沢辺小学校での思い出は藤兵衛山です。春は桜が咲いてきれいだし、夏にはセミやいろいろな虫がいました。秋にはモミジの葉が落ちてきれいでした。冬はそりですべるのが楽しかったです。

初めてこの学校に来た時、自然がいっぱいの藤兵衛山にびっくりして、早く遊んでみたいと思いました。ふと上の方を見ると木の間から日差しが見えて、風も涼しく、もっとたくさん行きたかったです。

ぼくの心に残ったことは1/2成人式です。お父さんとお母さんに自分の思いを伝えられたからです。頑張ったことや楽しかったことをちゃんと表現できました。お母さんからの手紙を読むと、ぼくに対しての思いが分かってうれしかったです。

私が1番楽しかったのは、学芸会です。1年生では3匹ヤギとガラガラドン、2年生では浦島太郎、3年生では本当の宝物は、4年生では地獄のそうべえでえんま大王をしてドキドキしました。5年生では竜宮の笛、今年も絶対成功させます！

ぼくの心に残ったことは運動会です。200m走で一緒に走った人は、ものすごいスピードで追いつけませんでした。みんな全力で走っているのがいいと思いました。1位にはなれなかったけど、楽しい思い出です。いつか1位になりたいです。

私の沢小での思い出は、学校キャンプです。カレー作りではおいしいカレーができました。プールでは飲み物を投げて、潜って拾いました。バーベキューもとてもおいしかったです。2日間あっという間でした。



1番心に残った沢小での思い出は運動会です。全力走の時思っきり走れたのでよかったです。大玉転がしがとても楽しかったです。赤組のみんなが応援してくれたので、頑張るぞと思えました。

ぼくの思い出は学校キャンプです。カレーを作ったり、陶芸で土器を作ったり、バーベキューをしたりしました。肝試しは、班の友達と行ったら大丈夫だったのでよかったです。とても楽しい思い出になりました。

私の沢小での思い出は、秋の陸上大会です。短い期間で一生懸命練習して、800mでもリレーでも、自己ベストを出せました。当日は緊張したけど、ちゃんとみんなについていけてよかったです。



て役まで決めて本格的でした。でも、藤兵衛山が無かったら杖とかほうきとかできなかったと思うので、藤兵衛山があつてよかったなあと思えました。

私の思い出は初めての学芸会です。一年生の時にやった学芸会は二つの役をやりました。最初にきつねをやりました。次に村人をやりました。きつねはいたずらをする役でした。変身するときも変な変身だったからいやなときもあったけど、本番ではちゃんとできました。村人役もできたけど、きつねの服の上に来たから少し暑くて大変でした。でも、初めての学芸会が成功してよかったです。

私の思い出は、中学年のころ藤兵衛山で遊んだことです。仲の良い友達みんなで遊びました。もう一つの思い出は、藤兵衛太鼓を演奏したことです。私と二人の友達が小太鼓でした。五年生の時、当時の六年生や先生に教えてもらってできるようになりました。六年間とても楽しかったです。

私の思い出は、いろいろな行事です。私は沢辺小学校最後の六年生です。沢辺小学校の伝統である太鼓では、みんなで協力して精一杯叩きました。伝統の最後をしめる演奏ができたと思います。運動会などでは自分の仕事をしてしっかり走りました。一日一日やる行事が最後の仕事となりました。六年間いろいろなことがありました。楽しかったり、くやしかったりいろいろなことをしました。沢辺小学校ありがとうございました。

私の思い出は、藤兵衛太鼓のことです。理由は藤兵衛太鼓は上学年になってから練習を始めます。最初はなかなか覚えられなかったけど、先輩方に教えてもらいながら、初めて太鼓を叩きました。何

### みんなで力を合わせひとつひとつ頑張ってきました。ありがとう沢辺小学校！

回も練習してうまくたけけるようになりました。先輩達から受け継いできた藤兵衛太鼓は思い出に残っています。

私の思い出は、四年生の学芸会です。理由は地震で体育館が使えなくて、ドリーム・パルで劇をしたことです。私はナレーターをやりました。二人の友達とやりました。体育館でやるよりもとても緊張したけど楽しかったです。また、機会があればドリーム・パルでやりたいです。

私にはたくさん思い出があります。その一つは、ドリーム・パルの学芸会です。「よだかの星」でナレーターをしました。りっぱなステージで演技できてよかったです。二つめは、花山合宿です。中でも、沢登りが楽しかったです。水が冷たくて気持ちよかったです。きつかったけど歩き通すことができました。三つめは、修学旅行です。みんなと一緒にいけるか不安だったけれど、母の応援もあって、一緒の場所を見学できてよかったです。

私の一番の思い出は運動会です。みんなと同じように走られなかったけれど、いつも一生懸命に走りました。六年生ではみんなの半分の長さをほとんど一人で走り通すことができました。母は、私があんなに走れるとは思っていませんでした。びっくりし、うれしかったです。わたしもほめられてうれしかったです。三年目の南中ソーランは、赤いはっぴを着て、とても楽しく踊りました。







ぼくの思い出は学校キャンプです。その中でも特に楽しかったことは、肝試しとテントの中であったことです。肝試しは夜に学校を回ります。大人がおどかしますが全然怖くありません。その後はテントでみんなとしゃべって寝ようとしたがなかなか眠れません。ペルセウス座流星群を男子全員で見たと寝ました。とても楽しかったです。

ぼくの思い出は運動会と藤兵衛太鼓です。運動会では紅白対抗リレーの選手に六年間選ばれました。六年生はアンカーでした。紅組と一位二位の争いをしましたが転んでしまい四位になりました。それでも、いい思い出です。藤兵衛太鼓はやぐらを叩いています。関先生に教えていただいたことを生かして先輩方みたいにうまくやりたいと思っていました。

僕の思い出は藤兵衛太鼓を教えてもらったことです。理由は、一年生から見てきた藤兵衛太鼓を僕たちもたたけたしそれに、初めはぜんぜんだめだったけど先輩たちの教え方がよかったからすぐに覚えられたからです。先輩方みたいに上手にたたいて伝統を守っていきなりたいです。

僕の思い出は学校キャンプです。その中で楽しかったことは、肝試しと夜のことです。肝試しでは、学校の中を夜に初めて歩いたので少し怖かったです。夜のことでは、テントの中でしゃべって、寝ようとしたけど寝れなかったので外に行きました。するとペルセウス座流星群を見ることができたのでよかったです。最高の思い出になりました。

### 沢辺小学校六年生のページ 長い歴史と伝統の沢辺小学校最後の六年生！

僕の思い出は藤兵衛太鼓を先輩に教えてもらったことです。理由は、全然わからなかったけど先輩のおかげで今ではほとんど間違えずにできるようになったからです。関先生にも教えてもらいました。動きも掛け声も自分でもよくなったと思います。

僕の思い出は、六年生の時の学校キャンプです。夜、組になった友達と肝試しをして楽しかったです。あと夜テントで寝たことも楽しい思い出です。次の日もみんなと遊んだし、ご飯なども食べてよい思い出になりました。次は水泳大会のことです。理由は背泳ぎをきれいに泳げたからです。

僕が一番の思い出は、初めて藤兵衛山で遊んだことです。初めて遊んだときは、ジャングルみたいで、どうなっているの分からなくて困りました。その時に先輩が道を教えてくれました。それで安心して遊ぶことができるようになりました。藤兵衛山はとても楽しかったです。

私が一番の思い出は藤兵衛太鼓を叩いたことです。五年生の時から六年生や関先生に教えてもらいました。六年生には授業の時間に、関先生は遠くから来て教えてくれました。そのおかげで覚えることができました。複雑なところもあるけどたくさん練習をしてきてたたくことができるようになりました。でも今年で終わるのは残念です。でも藤兵衛太鼓は忘れないでほしいです。

私の思い出は、三年生の時に藤兵衛山でハリーポッターごっこをしたことです。落ちている木の枝を杖にして呪文を唱えたり、長い木の枝で空飛ぶほづきに乗ったり、どんどんメンバーが増えていっ



歴代PTA会長

- 初 代 泉田 忠雄 会長 昭和 22 年度～昭和 23 年度
- 第 2 代 千葉 庄治 会長 昭和 24 年度～昭和 25 年度
- 第 3 代 吉田 孝知 会長 昭和 26 年度～昭和 27 年度
- 第 4 代 菅原 次男 会長 昭和 28 年度～昭和 32 年度
- 第 5 代 菅原 長助 会長 昭和 33 年度～昭和 40 年度
- 第 6 代 中村元之助 会長 昭和 41 年度
- 第 7 代 三宮 幸敏 会長 昭和 42 年度～昭和 44 年度
- 第 8 代 阿部 宗司 会長 昭和 45 年度～昭和 49 年度
- 第 9 代 松好 常三 会長 昭和 50 年度～昭和 59 年度
- 第 10 代 姉齒 直美 会長 昭和 60 年度～昭和 61 年度
- 第 11 代 小野寺 猛 会長 昭和 62 年度～平成 元年度
- 第 12 代 菅原 芳夫 会長 平成 2 年度～平成 6 年度
- 第 13 代 佐々木 康 会長 平成 7 年度
- 第 14 代 後藤 和廣 会長 平成 8 年度～平成 9 年度
- 第 15 代 高橋 哲夫 会長 平成 10 年度
- 第 16 代 加藤 義弘 会長 平成 11 年度～平成 14 年度
- 第 17 代 鈴木 明彦 会長 平成 15 年度～平成 16 年度
- 第 18 代 石川 淳 会長 平成 17 年度～平成 18 年度
- 第 19 代 鈴木 勝浩 会長 平成 19 年度
- 第 20 代 鈴木 健 会長 平成 20 年度～平成 22 年度
- 第 21 代 二階堂修一 会長 平成 23 年度～平成 24 年度
- 第 22 代 久我 一仁 会長 平成 25 年度







## 母校の教師となって

昭和28年度～昭和36年度在職 佐藤 吉郎

新任として母校勤務を拝命し担任は5年生だった。高学年なので指導力に不安を覚え、それを補うため放課後に補習授業をすることとした。毎日のことなので1時間を目途にしたが、いつの間にか2時間を超えていた。

2年目は持ち上がりで、その後の担任も高学年だったのでこの方式を継続することにした。かなり無理強いをしたが、どの年度の子どもたちも皆がんばり通したのである。ほんとうにすばらしい子どもたちばかりだった。沢辺中学校に進学してから、全国学力テストで日本一に輝いたのもこの子どもたちである。

文部省ではその要因を知るため、3年間にわたり学区等の調査をしたと聞いている。



沢辺中学校（昭和30年代）

## 思い出

昭和56年度～昭和59年度在職 菅原 幹男

沢辺小学校は、中学校13年、養護学校2年勤務した後の最初の小学校でした。最初の授業参観後の学年懇談で、保護者の方から「先生の教え方では、うちの子は分かりません。」と話され、小学生への指導の難しさを痛感させられました。

また、授業中板書していると、子どもたちから「先生、書き順が違います。」と言われたこともありました。何しろ中学校では、字は記号で読めればよいと思っていましたから、ショックでした。それで買ったのが今でも愛用している「漢字書き順辞典」です。

当時の子どもたちは、現在それぞれの分野で活躍しており、頼もしく思っております。



学芸会（昭和59年度）

## 「眺めも清き栗原の～♪」を回ずさみながら

平成17年度～19年度在職 平塚 茂樹

祖父母、両親、子ども二人と私にとって母校である沢辺小学校に、二年間お世話になりました。

体育館の窓ガラスをも震わせるほどの迫力ある「藤兵衛太鼓」の響き。雪の季節の「藤兵衛山スノーパーク」(?)から聞こえる、そり滑りに熱中する子どもたちの歓声。運動会を成功させようと、雨の中びしょぬれになりながら校庭整備をしてくださったお父さん方の熱意。区長さんや地域の皆様のご尽力による自主防災組織「沢辺安全安心隊」の立ち上げ等々。短い間でしたが、思い出は次々と浮かんでいきます。

閉校しても、沢辺地区の子どもたちには郷土の誇りを胸に、笑顔で頑張ってもらいたいと願っています。





## 藤兵衛太鼓のはじまり

平成3年度～平成9年度在職 鈴木 雅文

そろそろ転勤と思っていたころ、当時の菅原重悦校長先生から、「転勤するってが。おれ後1年だから、もう1年手伝え。」と言われました。そうして7年目が始まりました。

校長先生は創作太鼓を考えられていました。角田から関先生をお招きし、作曲していただきました。それが「藤兵衛太鼓」でした。

6年生を担当していた私は、直接「藤兵衛太鼓」に関わるようになりました。初代の太鼓を成功させるため、「藤兵衛太鼓」の文字を背中に入れたTシャツを作り、クラス全員がそれを着て練習に励んだものです。のぼりも手作りした思い出があります。

一番最初に沢辺小学校の「藤兵衛太鼓」に関われたことを誇りに思っています。

## 卒業生として、教員として…

平成17年度～平成20年度在職 昭和47年度卒業生 高橋 伸

私が学んだ当時の沢辺小は木造校舎で、体育館ではなく「講堂」がありました。藤兵衛山の西側には「幼稚園（本当は幼児学級）」があり、そしてそこには「崖」がありました。私の運動能力の基礎は藤兵衛山とその「崖」で培われたと思っています。教員としては、4年間勤務させていただきました。母校で「後輩」たちの指導ができたことは何よりの喜びでした。水泳大会や陸上大会に向けての練習で、一緒に汗を流したことをはじめ、その成長に少しでも関わられたことは私の一生の宝物です。今回、閉校ということで寂しく思いますが、小・中一貫教育校としてさらにすばらしい発展を遂げるものと確信しています。



学芸会（平成19年度）

## 私の思い出

昭和27年度卒 菅原 馨

私達は戦争の終戦になる昭和20年4月に姉齒分校に入学をしました。1年生と2年生の2教室で先生は一人で教えてもらいました。

運動会や学芸会は本校の児童と一緒になりました。3年生からは本校の児童と一緒に二組に別れて学びました。戦争も終わり、物の不足の時に、長靴や傘などはない時代でした。通学の時に雨や雪が降ると被る物はミノという物を被って履き物は雨の時はワラジを雪の時などはズベイという物を履いて通いました。また秋には高学年生は落ち穂拾いやイナゴ取りをしました。今日のように体育館等もないので外で遊び、雨の日は教室で机を片付けて行った思い出があります。



本校との合同運動会





## 優勝の花輪

築館小学校での運動会に「他校リレー」の招待を受け、男女共頑張りました。男子チームが優勝、女子も絶好調！！アンカーを務めた私は、喜びで天にも昇る思いでした。

何と優勝杯は『花輪』だったのです。行きは沢辺駅から国鉄バスでしたので、花輪をもらった私たちは、引率の豊嶋先生の計らいでタクシーの屋根に花輪を括り付け凱旋したのです。

校長先生始め、学校をあげて大喜び、先生方やお客様が入りする正面玄関にしばらくの間飾られてました。

私のアルバムに残る写真を見ると「全員裸足。」どんな運動靴より生まれつきの「革靴」最高だったんですね。先生にご馳走になったお蕎麦と共に美味しい物語です。

昭和29年度卒業 菅原かつよ



優勝の花輪を前に生まれつきの「革靴」で

## 沢辺小学校よ、ありがとう

私が入学したのは、東京オリンピックの年で、築年数を経た木造の校舎の頃です。

朝は沢辺駅からの徒歩の先生たちと一緒に学校へ、廊下はギシギシ、隙間に引っかけられないよう注意して歩く。休み時間は校庭でドッジボール、サッカー、相撲、鉄棒等、藤兵衛山の石の長い滑り台、ブランコ、鳶でのターザンごっこ、幼稚園庭脇の崖登り、帰りは土手でチャンバラ、川での石投げ、通る馬車にこっそり乗ったり、楽しかった。

高学年の頃に初めてプールができ、川での水泳とさよならしました。さらし粉の香り。

沢小卒業生の思い出の詰まった学び舎は、皆の記憶の中で永遠に生きていくと思います。

昭和44年度卒業 加藤 宗伸



藤兵衛山の石の長い滑り台（昭和30年代）

## 心の風景

2年生の頃だろうか。朝6時、竹を耕運機のトレーラに積み込み、雨の中父と2人カッパを着て、学校へと運んだ記憶がよみがえってくる。沢辺小学校は、当時木造の校舎で北側校舎と西側校舎のカギ型の学校でした。西側校舎の裏には講堂があり、その脇にすっかり濡れきって重い竹を運び置くとまた耕運機に乗り込み、降りしきる雨の中、砂利道のうねった小堤の道を帰ったのです。七夕の日、その竹にみんなは沢山の短冊や折り紙を飾り楽しんでいました。その姿を見て「自分が持ってきた竹だぞ」と、とても誇らしく感じていたことを今も思い出します。学校の行事はすべて講堂であり、昼休みや放課後の遊び場所でもありました。講堂で遊ぶのも飽きると、階段を下り西側校舎玄関を勢いよく、靴も半履きで校庭へと飛出し、藤兵衛山の長い滑り台の上へとまっしぐらに走りだしたものです。藤兵衛山から見る校舎は当時の私には威厳を感じるほど黒く大きく見えていました。母の時代には西側校舎が中学校だったそうです。母・私、子どもの時代はコンクリートに変わりましたが、今でも藤兵衛山から見る校舎と栗駒山とのコントラストは私にとっての「心の風景」なのです。

昭和48年度卒業 二階堂 紀正



## 分校2年・本校4年の小学校生活

昭和51年度卒業 佐々木 桂太

岩ヶ崎幼稚園を卒園した私は、家の事情で金成町立沢辺小学校に入学した。沢辺小学校と言っても、現在姉齒下集会所の場所にあった建物である。同級生9人、これが私の小学校生活のスタートだった。姉齒地区の1、2年生が在籍し、2つの教室しかない校舎？だったが、特に不自由はなかった。ただ、大きな行事や予防接種、プールを使いたい時には本校にみんなでいった。残念ながらこんな分校も私が2年生の時に廃校になった。

3年生からは晴れて本校通いとなった。L字型の大きな木造立ての校舎である。友達もたくさんできた。雑巾がけでは毎日のように誰かがとげを刺す。しかし、保健室なんかには行かず舐めてなおした。大使用のトイレはとても怖くて入れなかった。藤兵衛山には大きなコンクリート製の滑り台があった。洞穴もあった。30年以上経った今でも時々思い出す。語り尽くせない思い出が詰まった6年間、今となってはすべてがよい思い出である。

## 思い出

平成3年度卒業 山本 和美

たくさんの思い出がある沢辺小学校が今年度で閉校することに寂しさを感じています。

私の学年は、その当時、他の学年よりも人数が少なかったのをきちんと話し合い目標に向かって皆で協力し、励まし合う事が出来ました。沢辺小学校といえば藤兵衛山!! 休み時間は必ず藤兵衛山まで走って行って遊ぶのがあたりまえでした。秋には落ち葉を集め、畑でとれたサツマイモを食べたり、冬になればソリ滑りをして遊びました。

皆で協力しあったこと、藤兵衛山でたくさん遊んだこと、沢辺小学校で過ごした思い出をいつまでも大切にしていきたいです。



## 沢辺小学校閉校を想う

平成10年度卒業 佐藤 健

「沢辺小学校の閉校」そのことを知ったとき私は悲しいような、寂しいような何とも言えない気持ちになりました。

沢辺小で過ごした6年間。今でも鮮明に同級生と一緒に過ごした風景や恩師の先生方を思い出すことができます。



遠足や花山合宿、福島への修学旅行も思い出深いものですが、やはり過ごした時間の長い学校の思い出が一番とそう思っています。

体中傷だらけになっても走り回って遊んでいた藤兵衛山。毎日サッカーやキックベースをしたりキャンプをしたりしたグラウンド。おそらく今もあるであろう校舎の落書き。すべてが私にとっての「宝物」です。たとえ閉校となってもその「宝物」は無くなることも、色あせることもありません。

ありがとう。沢辺小学校。そして、さようなら。

学校キャンプ（平成7年度）





懐かしの写真集～思い出のアルバム



明治時代の沢辺尋常小学校（沢辺新町裏）



沢辺尋常小学校卒業記念（大正13年）



栗原郡澤邊少年赤十字団発団式（大正14年10月8日）



女相撲大会（昭和7年）



運動会



昭和24年4月の1年生（昭和24年度）



姉齒分校入学式（昭和23年度）



山のブランコ（昭和27年度）



藤兵衛山にあったコンクリートの滑り台（昭和31年）



沢辺病院



姉齒分校





思い出のアルバム～懐かしの写真集



沢辺仲町を通過する東京オリンピック聖火ランナー（昭和39年）



講堂での新川三郎ショー



航空写真（昭和50年度）



町民運動会（昭和45年度）



校内書初展（昭和52年度）



第43回栗原郡小中学校音楽祭 栗原文化会館（平成元年度）



旧校舎（昭和53年度）





## あしがき

栗原市立沢辺小学校

教頭 久保田 健一

平成26年3月に140年間の長い歴史を閉じる沢辺小学校。これまで多くの子どもたちがこの沢辺小学校を巣立ち、それぞれの分野で活躍されていることと思います。この歴史のある沢辺小学校の最後の年に沢辺小学校に在職できたことはありがたくもあり、そして寂しくもあります。

歴史ある沢辺小学校の最後をしっかりと閉じるために、平成23年7月、PTA本部役員を中心に閉校記念事業を進める組織作りのため、第1回沢辺小学校閉校準備委員会を実施、平成23年12月には閉校へ向けていろいろな記念事業を進めるために第1回沢辺小学校閉校記念事業実行委員会を開催しました。会議も事務局会議や記念誌事業部会、記念式典事業部会とそれぞれの役割に分かれ、沢辺小学校のことについていろいろ議論しながら会議を重ねてきました。また、沢辺地区の皆様、諸先輩方に多くのご協力をいただきながら一つ一つの事業を着実に進めてまいりました。

今年度はすべてが沢辺小学校として最後の行事や取り組みになるため、今までとは違った取り組みをしてきました。「運動会」や「感謝の会」など記念式典事業部と相談しながら地域の皆様にも参加いただけるように進めることができました。また、記念誌では写真や寄稿文のご協力をいただきながら作成をしています。すべて、沢辺小学校の最後を飾るため、思い出に残るすばらしい取り組みになったと思います。

これまでの取り組みは保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様方からのご協力があったから進めることができました。今までもそしてこれからも沢辺小学校は、心の中に残ることと思います。ありがとうございました。



## 栗原市立沢辺小学校閉校記念誌

発 刊 平成26年3月

発 行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立沢辺小学校閉校記念事業実行委員会



